

ウガンダ □ □ ✕ 日本 □ □ ⑤

あなたにとっての1秒は誰かにとっての1秒でもある



ウガンダとは???

国について part 5

今回は、**ウガンダ人の服装**についてのお話をしたいと思います。皆さんは、アフリカの人たちの服装と聞いてどんな格好を想像しますか?? マサイ族のようなイメージであったり、裸に布を羽織っている姿や、裸足の人達ですか?? もちろんアフリカにも、ウガンダにもそういった文化が残る地域があります。今日はそういった文化とは違うアフリカの多くの国で親しまれる**“アフリカ布”**についてご紹介します。普段着もカラフルなウガンダの人達を見ているとこちらも元気になります。



このアフリカ布は、現地で**“チテンジ”**と呼ばれていて、現地の人たちがオシャレを楽しむためのツールとして、観光客へのお土産として多くの人に愛されています。



お気に入りの生地を見つけてオリジナルのシャツをオーダーする事も出来ます。世界に一つだけのシャツを作ったり、お揃いのシャツで式に参加したりと、活用の仕方は色々です。



お揃いのチテンジシャツ作りました!!!

協力隊について

1965年（昭和40年）初の協力隊員5名がラオスに派遣されました。それから、約54年が経った現在、累計隊員数（派遣中+帰国）約50000人、累計派遣国数（派遣中+帰国）92カ国となっています。長い歴史の中で、多くの日本人が生まれ育った自国の環境とは異なる環境の中で、現地の人たちと生活を共にしたと思うと、感慨深いものがあります。それと同時に現在、同じ協力隊員として活動できていることを誇らしく感じます。累計の派遣国数は、既にかいたように92カ国となっています。前回のウガンダクイズで出題しました、現在の派遣国数についてですが、72カ国となっています。

（2019年7月）世界中の国々に同じ志しを持った仲間がいると思うととても心強いです。協力隊は、1年に秋と春の2回の募集があります。もし、興味がある方がいれば、調べてみると良いかもしれません。様々な職種があり、自分にあったものが見つかるはずです。



協力隊50周年企画として映画が作成されました

ウガンダ野球オリンピック予選の結果

報告が遅くなってしまいましたが、5月に南アフリカで東京オリンピックのアフリカ予選がありました。ご縁があり、私もウガンダ代表のアシスタントコーチとして、帯同させていただきました。国際大会にスタッフとして携われたことは、本当に良い経験になりました。

結果を発表させていただくと、ウガンダはアフリカ2位という結果で大会を終えました。

決勝戦では、1位の南アフリカとの力の差を感じさせられる大敗を喫しました。この時点で東京オリンピックへの道は閉ざされましたが、この経験はきっとこの先のウガンダ野球に繋がってくれると信じています。応援してくださった方々誠にありがとうございました。



最後に

ウガンダに来てから、早くも1年が経ち、残りの任期も半分を切りました。今までは、たくさんの方々にお世話になって来たので、この先は自分がお世話できるように、頑張りたいと思います。

お寿司、蕎麦、吉野家の牛丼が恋しいです、、、

□□ウガンダクイズ□□

ウガンダの国旗になっている

動物はどれでしょう??

1



3



2



4



次回のトピック

①国について part 6

②生徒の1日

③教員（自分）の1日

おまけ

日本では、TICAD7（アフリカ開発会議）が横浜で行われて、盛り上がっていると聞きました。アフリカの経済に日本がどのような関わりを持っているのか、興味がある方は、調べてみてください。